【富雄北小学校】令和5年度奈良市通学路安全プログラム対策箇所一覧　（R８年９月末時点）

通し番号	学校別番号	小学校名	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	対策（検討も含む）	事業主体	対策状況	備考
	1	富雄北	市道西部第５７４号線	富雄北３丁目１-７	当道路は対面通行が可能ですが、決してゆとりの有る道路幅ではありませんから、登校児の間隙を車輌が走り抜ける状況にあります。特に県道方面に向かって下り坂に加えて前方の信号がランズ富雄前辺りから運転者の視野に入るため、青色灯を認識した車輌は勢い加速して交差点に突進します。　（県道側優先、市道側信号の待機時間が長い）	・道路鋲の設置 ・水路に蓋をすることを検討→地元の同意が得られなかったため、設置不可	市	未	
						路面標示「学童注意」の塗り直し	市	済	
	2	富雄北	市道西部第１２１０号線	富雄川西２丁目8-１２	登校時間帯には通学や通勤など多くの人や自転車が混在して通行します。当交差点は西方住宅域から県道への唯一の出入り口に当たるため、自動車も頻繁に通過しますが、当交差点の路面線引きでは１２１０号線側が優先道路と判断できるため、西方の住宅域から県道に向かう車輌は、多くが交差点を無停止で橋上の停止線まで通り抜け様とする事例がしばしば発生します。原因は交差点手前の「停止線」や「一旦停止の標識」が無い上に、登下校児童の「横断歩道表示」や「注意標示」も無い事にあります。特に1210号線を県道に向かうドライバーが、県道交差点の青信号認識で県道へ進入を急ぐ傾向があります。（県道優先信号で1210号線側の赤信号が長いため）見守りのボランティアが状況に応じて、横断黄旗をかざして通行車に停止を求めるますが、時として心ない罵声を浴びたり、学校へ苦情が入るなどの事象報告があります。	・交差点のカラー化	市	済	
						・横断幕「学童注意」の設置	市	ー	横断幕が破損した際に、走行する車のフロントガラスに張り付く等の危険を及ぼす可能性があるため、設置は難しい。
						・青信号が遠方から見えない信号機に改良することを検討	警察	ー	違う信号と見間違わないために改良するものであって、スピード落とすためには改良できない。
	3	富雄北	市道西部第５６７号線１３２４号線	富雄北３丁目２２-２７	1324号線南方から登校児童が横断する ５６７号線 は、東方住宅域から富雄川沿い県道への抜け道として利便性が高いため、朝夕の登下校時間帯は特に自動車の通行量が多くなります。児童が横断する当交差点は南東角の建造物に遮られて西進車輌の見通しが困難な状況で、見守りの保護者からしばしば危険な事象が報告されます。さらに、５６７号線を横断した児童は５６７号線北側の歩道を三松中橋東詰め交差点に向かいますが、この歩道が途切れ途切れで異常な形状で、広範囲に歩道が無く車道と歩道の区分がありません。	・路側線の設置 ・グリーンベルトの設置 ・マンションの管理者と協議後、歩道の撤去を検討 ・未来洞富雄教室と自治会と道路建設課で協議後、歩道の改良を検討	市	未	マンションの構造物に影響を及ぼす可能性があるため、マンション横の歩道の撤去は難しい。それに伴い未来洞富雄教室横の歩道の改良も行わない。
						・横断歩道の設置を検討	警察	ー	安全な歩行者だまりが無いため設置できない。
	4	富雄北	市道西部第５７５号線	富雄北1丁目13	歩道区分線（グリーン色）を引いた歩道があります。　その歩道とした部分は元有った側溝を簡易アスファルトで埋めただけで、雨水を道路反対側の側溝にはく考慮が成されておらず、雨の日には歩行部分が水溜まりになって歩行できません。（部分的に凸凹）　通行車輌を避ける唯一のスペースが水浸なる様では、雨の日の登下校児童にとって非常に厄介で危険な状況になっていると言えます。	・透水性アスファルトへの変更を検討	市	未	R7年度測量設計業務委託完了。R8年度学校への電柱移設。R9年度工事発注予定。